

市民協働課長
まちづくり推進課長
地域政策課長 殿
都市計画課長
地域振興課長

会 場 専 用

日経東発第60020973号
令和5年7月1日

一般社団法人 日本経営協会
理事長 岡島 芳明

NOMA行政管理講座開催(ご案内)

協働型行政の課題と解決

～住民・ボランティア・NPOとのパートナーシップ作りと協働の方法～

＜令和5年11月13日(月)・14日(火)＞

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本会の事業活動には、平素より格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、これからの自治体の政策実現、地域社会の発展のためには、住民と行政の協働が欠かすことのできない要素です。まちづくり、環境対策、福祉事業、災害対策など、さまざまな地域課題に住民と行政がともに取り組み、地域社会を発展させていくことが求められています。

そこで、「協働型行政の課題と解決」というテーマのもとに、住民・NPO・ボランティア活動と行政のパートナーシップ作りや行政のサポートの方法など、事例を議論することで、今後の協働型行政の研究を深めたいと思います。また、併せてワークショップの手法を学ぶことにより、住民と行政の協働のまちづくりの進め方について考察します。

時節柄、ご多忙の折とは存じますが、この機会にご担当者多数のご参加をおすすめ申し上げます。

敬 具

本講座は地方自治体職員の方を対象としています。

記

日 時：令和5年11月13日(月) 13:00～17:00
11月14日(火) 10:00～16:00
(12:30から受付)

講 師：自治体活性化研究会 代表
一般社団法人生活福祉研究機構 専務理事
中央大学 非常勤講師 大石田 久宗氏
三鷹市社会福祉事業団 理事長

会 場：日本経営協会内専用教室
(東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8)

参 加 料：会員(1名) 34,100円(税込)
(負担金) 一般(1名) 37,400円(税込)



〈会場案内図〉

申込方法：①Web申込…本会ホームページ上の「セミナーお申込ボタン」を押し、必要事項をご入力下さい。

②FAXまたは郵送申込…裏面申込書に必要事項をご記入の上、下記へお送り下さい。

- ・受付次第、参加券および請求書をご連絡担当者宛にお送りいたします。
- ・開催3営業日前までに参加券が届かない場合は、お手数ですがご連絡下さい。
- ・お申込みは開催日の5営業日前までお願いいたします。
- ・本講座は会場ご参加者のみです。定員になり次第締め切らせていただきます。

入金方法：参加料は、請求書にもとづき銀行振込にてお納め下さい。領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承下さい。

キャンセル：お申し込み後、キャンセルされる場合は必ず事前にご連絡下さい。

開催日の3営業日前～前日のキャンセルは参加料の30%、開催当日のキャンセルは100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までに連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承下さい。

その他：参加者が少数の場合、天災、その他の不可抗力の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

お申込み
お問合せ先



一般社団法人 日本経営協会

(お問合せは平日の月曜日～金曜日の9:15～17:15にお願いいたします)

本部事務局 企画研修グループ・オンライン開発グループ
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8
TEL(03)3403-1891(直) FAX(03)3403-1130
E-mail: tks@noma.or.jp URL http://www.noma.or.jp

協働型行政の課題と解決（グループワークショップ）
～住民・ボランティア・NPOとのパートナーシップ作りと協働の方法～

▶プログラム◀

- 職員を悩ます3つの壁
- 市民と行政の協働はなぜ必要
- 協働とはどのような関係
- 職員のあるべき姿

1. 3つの壁

- 1) 市民の壁
- 2) 組織の壁
- 3) 政治の壁

2. 市民と行政の関係の歴史的变化

- 1) 対立から参加へ
(フローからストックへ)
- 2) 参加から協働へ
(ストックからリレーションへ)
- 3) 協働から自治型社会へ
(リレーションからガバナンスへ)

ワークショップ 事例1

リモートワーカーが子どもの声がうるさいと
公園に張り紙

3. 地域コミュニティと市民活動の変化

- 1) 交流型コミュニティの形成
- 2) 課題解決型コミュニティ
- 3) 自治型コミュニティ

4. 協働とはどのような関係か

- 1) 協働の要素
- 2) 協働の類型
- 3) 協働の関係づくりの悩み・課題

ワークショップ 事例2

NPOと町内会が託老施設の運営で対立

5. 事例検討

ワークショップ 事例3

鍵を川に落とした大学生が市に助けを求めた
(昼休みに公園管理担当に電話が)

ワークショップ 事例4

施設利用の条件が厳しすぎて市に苦情(使った
らトイレ掃除、茶碗の茶渋落としまで言われた)

ワークショップ 事例5

証明がすぐにももらえないと窓口で怒鳴り声が
(印鑑登録がすぐにできず、証明をもらえないと市民の怒りが爆発)

ワークショップ 事例6

農業公園の建設で議員に首にしてやると脅さ
れた(ひろばとして開放していた土地に農業
公園を建設することで反対運動)

ワークショップの進め方

- ①全体で事例説明
- ②各グループセッションに分かれて自己紹
介、発表者、司会者選出
- ③各自選択肢を選んで理由を述べる
- ④グループとしてまとめる
- ⑤全体会に戻って発表

6. これからの自治体職員

- 1) 職員の能力開発
- 2) 組織・職場の課題と改革
- 3) 政策判断と議会
- 4) 相対的信頼者市民を増やそう

7. 質疑応答・情報交換

8. まとめ

～自治型社会の到来に向けて～

連絡事項

◆本講座では、講師の編著『自治体職員
かく生きる(一般社団法人生活福祉研
究機構、2019年)』をテキストとして
配布いたします。

講座申込み：FAX (03) 3403-1130

60020973 『協働型行政の課題と解決』参加申込書

※NOMA記入

令和5年11月13日～14日

☐会員 ☐一般(該当欄にレ印)

役所名			所在地	〒		
ご連絡担当者 所属・役職 氏名			TEL	FAX		
			e-mail			
フリガナ 参加者氏名	フリガナ 参加者氏名	所属部課 役職名	所属部課 役職名	経験 年数	年 月	<連絡事項欄> (経験年数は、現在の部課での年数をご記入ください)
フリガナ 参加者氏名	フリガナ 参加者氏名	所属部課 役職名	所属部課 役職名	経験 年数	年 月	

申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。

①参加券・請求書の発送および参加者名簿の作成などの事務処理 ②本会主催のセミナー、展示会のご案内 ③がご不要の場合は□にチェックしてください。

☐不要